

JAAF SHIMANE

島根陸協だより



第6号

一般財団法人島根陸上競技協会は各競技団体と協力し、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及と振興を図り、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を育てるための活動を行っています。

発行：島根陸上競技協会総務委員会広報部 2014年9月10日発行

一般財団法人 島根陸上競技協会

〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号（松江市営陸上競技場内） TEL/FAX：0852-23-6686 ホームページ：http://www.shimariku.jp

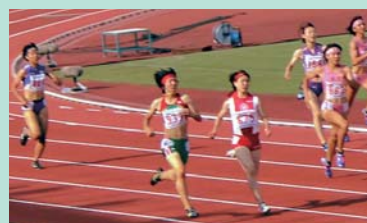
快

全国高校総体 3種目で頂点 史上初

挙

★青山聖佳（松江商高）200m 23秒86、400m 53秒73 で2冠！
100mでも3位入賞 準決勝で11秒83の県新記録達成

青山選手は、日本選手権で敗れた松本奈菜子選手（浜松市立高）に400mで競り勝ち雪辱を果たしました。また、200mは圧倒的な強さで他の選手を突き放し、2冠を達成。自身が目指していたスプリント種目3冠は達成できなかったものの、100mでは3位入賞、準決勝では県新記録を達成する活躍でした。



400m 決勝



200m 決勝

アジア大会出場も決定

青山選手は、9月28日から韓国仁川で行われるアジア選手権に400m、4×400mリレーの選手として出場予定です。今後の活躍が大いに期待されます。

★澤 慎吾（大社高）棒高跳 県新、中国高校新記録で優勝！



澤選手は、昨年度は4位入賞、その後も柳楽達也監督の下で確実に実力をつけ、記録も伸ばして来ていました。3選手が5m15をクリアするというハイレベルな争いの中で、ただ一人5m25を跳び、優勝を決めました。これまでの県記録は柳楽監督の5m20、その記録を更新しての優勝。全国の舞台で最高の恩返しを果たしました。

山梨インターハイを終えて…



松江商業高校 青山聖佳

今年のインターハイは個人種目三冠を目標にして日々練習に励みました。合宿などでアドバイスを受け、冬季も順調でしたが、春先に度重なるケガのため、練習や大会でも満足に走れませんでした。ライバルたちの活躍を見て、とても焦っていましたし、不安な気持ちでいっぱいでした。そんな中でも先生がわざわざ県外まで治療に連れて行ってくださったり、また仲間たちの応援やサポートがあったりして、インターハイに進むことができました。サポートをしてくださった方たちのためにも必ず三冠を達成しようと思いました。結果は200mと400mで優勝、100mは3位。とても悔しかったです。負けて学んだこともあり、収穫のある大会でした。二冠も充分誇れる成績だと思っています。先生や仲間たちへの恩返りできたのではないかと思います。



私は秋に大きな大会が控えています。アジア大会への参加が認められました。最初は明確な目標はありませんでしたが、合宿を通じて日本代表としての責任や、自分が次に大きな大会で活躍するためには、金メダルを取らなければならないことがわかりました。個人とリレーで今以上の力を出し、金メダルを目指して頑張りたいと思います。

松江商業高校 監督 川本恵美

今回は3回目のインターハイになりました。1年から決勝には残るものの、優勝のタイトルは逃し続けてきました。今年のインターハイに臨むにあたり、顧問として私の責務は優勝、しかも三冠。彼女がそうしたいと思えば、それを達成することが私の到達目標になりました。

しかし、今年は春先からケガで思うように練習ができませんでした。大会にもエントリーしたが出られないことも多く、インターハイに出場することもできるのかどうか、危ぶまれた時期もありました。6月に行われた日本選手権の400mでは、300mまで先頭に立ちながら、同じ高校生に350m付近でかわされて負けました。ケガで練習が積み重なったとはいえ、この苦い経験が彼女の心に火をつけたのだと思います。

インターハイは日本選手権のリベンジの場となりました。初日の400m決勝は、途中まで日本選手権の再現のようなレースでした。しかし、彼女自身も私もリベンジの思いが強く、期するものがありました。その思いが彼女の足を動かしたのかもしれませんが、350m過ぎに先頭に立った時、私はスタンドで優勝を確信しました。ゴール後、彼女は喜びのあまり両手を挙げました。これまで、あまり喜びを表に出してこなかった彼女のその姿に、私も涙してしまいました。

目標としてきた三冠が達成できなかったのは、残念でした。しかし、その苦い経験を次のステップに活かしているのが彼女の強みです。次のレースは日の丸を背負って走ることになっています。インターハイで経験したことを、今度はアジア大会で生かしてくれることを願っています。

大社高校 澤 慎吾

今年のインターハイは、県勢初の棒高跳び優勝が懸かっており、大きなプレッシャーを感じての出場となりました。昨年よりもレベルが上がり、5m15を自分も含めて3人が成功するという予想通りの展開となりました。時々突風が吹くというコンディションでしたが、私は悪条件を得意としているので、かえって楽しむことが出来ました。

5m25を跳ぶ前は、勝負というより、楽しい気持ちでいっぱいだったことをとても印象深く覚えています。

結果は、自己記録を15cm更新する5m25の高校歴代5位の記録で優勝することが出来ました。

最後になりますが、今回このような結果が残せたのも、たくさんの方々の支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。これからも、新たな目標に向かって精一杯がんばってきたいと思います。



大社高校 監督 柳楽達也

昨年のインターハイ棒高跳びでの、同一校三人入賞(2位、4位、7位)以降、優勝だけを見据えて取り組んできた。迎えた本番では、近年まれにみるハイレベルな争いとなり、「さすがに簡単には勝たせてもらえないなあ」という展開であった。しかし、不安や焦りはなかった。澤は、それだけの資質を持ち、それにふさわしい努力をしてきたからだ。昨年、今年とすばらしい成績を残してくれた選手達との出会いと、選手達を支えてくださった方々に感謝します。

大会報告（島根陸上競技協会主催大会）

第69回 宍道湖一周駅伝競走大会 4月6日

4月6日、今年も松江市営陸上競技場発着のコースで行われました3部門合わせて58チーム（オープン参加3チームを含む）の参加となり、昨年に続き陸上自衛隊米子が総合優勝を勝ち取りました。自衛隊米子は、6区が終わるまでを米子松蔭にリードを許していましたが、最終区間で逆転し、わずか10秒差で優勝を勝ち取りました。また、各部門優勝は、一部（市町村対抗）松江市、2部（団体対抗）自衛隊米子、3部（高校対抗）米子松蔭高校が優勝し、3部門とも連続優勝となりました。最優秀選手には、1部は石橋和夫選手（松江市）、2部は池本大介選手（陸上自衛隊米子）、本田圭吾選手（米子松蔭高）が選ばれました。



1部ゴール



2部ゴール



3部ゴール



各部門最優秀選手



1部優勝 松江市A



2部優勝 陸上自衛隊米子



3部優勝 米子松蔭高校

第97回 全山陰陸上競技大会

4月26日・27日に松江市営陸上競技場で行われました。今年も、小学生から一般の島根・鳥取の両県の多くの選手が参加しました。また、他の府県からの選手の出場もありました。2日間の大会を通して8つ大会新記録が生まれました。そのうち7つ小中学生の女子種目で、将来が期待される多くの女子選手が活躍した大会になりました。特に大社中学校の大賀結莉選手は中学女子200m、中学女子4×400mリレーの2種目で大会新記録で優勝する活躍でした。



中学女子200mと4×400mリレーで大会新を出した大賀選手（大社中）

第68回 島根陸上競技選手権大会

5月4日・5日に益田陸上競技場で行われました。男子棒高跳では、大社高の澤慎吾選手が5m05の好記録（大会タイ）で優勝し、全国で戦える实力を見せてくれました。



男子400mハードルで大会新を出した佐々木選手（熊本大）

また、男子400mHでは熊本大の佐々木拓選手（松江北高出身）が52秒18の大会新記録で優勝しました。女子5000m競歩では、1位古川惇帆選手（出雲商高）、2位青木結子選手（出雲高）、3位金山遙香選手（出雲高）が大会新記録でフィニッシュし、女子競歩の競技レベルの向上が感じられました。

がんばれ島根！ 第69回 国民体育大会出場予定選手



今年度長崎で行われる国民体育大会に出場する選手が8月9日の理事会において決定しました。

監督	男子	吉川正展 (横田高)	3000 m	黒木みひろ (出雲工高)	
	女子	森本真晃 (松江南高)	110 m JH	高畑大輝 (大社高)	
成年男子	100 m	門脇優作 (松江NGC)	走幅跳	金築大将 (大社高)	
	110 m H	矢田弦 (東京学芸大)	砲丸投	田中亮伍 (松江工高)	
	400 m H	佐々木拓 (熊本大)	円盤投	平井龍 (松江工高)	
	棒高跳	来間弘樹 (順天堂大)	100 m	青山聖佳 (松江商高)	
少年A男子	砲丸投	福島翔太郎 (BMAC)	400 m	黒田純菜 (平田高)	
	やり投	松谷昂星 (九州共立大)	400 m H	山上萌菜 (大社高)	
	4x100 m R	土井尚人 (筑波大)	ハンマー投	赤木美保 (平田高)	
	100 m	吾郷陽 (松江北高)	100 m	三上真奈 (矢上高)	
少年B男子	400 m	山崎定将 (明誠高)	少年B女子	100 m YH	大賀結莉 (大社中)
	5000 m	田部幹也 (出雲工高)	走幅跳	井上舞 (大東中)	
	400 m H	遠藤晴輝 (横田高)	800 m	福田翔子 (松江北高)	
	棒高跳	澤慎吾 (大社高)	少年共通女子	砲丸投	野崎菜美 (益田高)
少年A女子	ハンマー投	平井龍 (松江工高)	やり投		
	少年B男子	100 m	金山陽平 (松江北高)		

※少年A種目…高校2・3年 少年B種目…中学3年、高校1年 少年共通種目…中学3年～高校3年

第30回全国小学生陸上競技交流大会

8月22日(金)・23日(土)
日産スタジアム(神奈川)

4種目で8位に入賞



男子走幅跳 3位
小畑 太楓
(松江陸上教室)



女子80mハート 4位
拝上 芽生
(浜田JAS)



男子走高跳 5位
佐々木悠人
(浜田JAS)



男子4x100m リレー6位
矢野 佑介
川上 航汰
中島 祐樹
野上 萌士
(益田陸上教室)
(ナンバーカード「32」
白いユニフォーム)

H26年度一般財団法人島根陸上競技協会賛助会員の募集について

島根陸上競技協会では、活動に賛同し援助していただける賛助会員(団体・個人)を募集いたします。年度ごとの会費を納めていただくと賛助会員として登録され、会員には広報紙の配布や5口以上の企業・団体会員については県陸協主催大会のプログラムへの広告掲載などの特典があります。

本協会のホームページに掲載の趣意書をご覧ください、下記の要領でご入会ください。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。たくさんの方のご支援をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

記

- 年会費 個人会員 年額 2,000円を1口として、1口以上
企業・団体会員 年額 10,000円を1口として、1口以上
- 申込期間 平成27年3月31日まで
- 払込方法 郵便局での払込 別紙払込取扱票をご利用下さい。(払込料不要)
直接支払 協会事務局にご持参下さい。
事務局 〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号
(松江市宮陸上競技場内)
TEL/FAX 0852-23-6686
ホームページ <http://www.shimariku.jp>

